

平成 26 年度 津山市立津山西中学校

改善プラン「平成 26 年度全国及び岡山県学力・学習状況調査」今後の取組について進捗状況（12 月）

	学校の取組・改善方法 (課題に対する改善方法)	進捗状況 (学期末時点)	3 学期及び来年度へ向けて (具体的な達成目標や数値目標等)
	図書館の利用率を上げ、読書活動を推進する。	B	朝読書の取り組みを徹底し（ルールの徹底・学級文庫の充実等）全員が静かに本を読めるよう環境を整える。 司書教諭と委員会が連携し、貸し出し数競争等読書の啓蒙活動に取り組む。（25 年度 2,408 冊 26 年度 3,260 冊 / 11 月末 27 年度 4,000 冊目標） 全く読書をしない生徒を 0 にする。（4 月 1 年 21.5% 3 年 48%）
	家庭学習の定着を図る。	C	テスト週間に合わせ、小中連携してノーメディアの取り組みが 80% を越えるよう学校全体で進める。 （取り組み人数の割合 1 学期 79%、2 学期 67%） 『学習の手引き』を活用し、家庭学習の必要性や方法・時間の目安等、各教科や学年・学級で呼びかけていく。（生活実態アンケート調査 目標時間を越える生徒 60% 以上を目指す。現在 44%）
	授業力の向上を目指して、全教師が年 1 回以上の研究授業を行う。	C	授業内容が『よく分かる』『分かる』と答える生徒が全教科で 70% を越えるよう授業改善に努める。（アンケート調査で 1 年 1 教科・2 年 5 教科・3 年 3 教科が 70% を下回っている） 年間計画以外でも通常の授業を互見し、研究協議を随時行いながら、職員全体で授業改善を進めていく。（研究授業以外に 1 回）
	学習到達度確認テストや全国・県の学力学習状況調査の過去問題を計画的に活用し、学力の定着を図る。	C	西中タイムや授業等を利用し、学習到達度確認テストや全国・県学力学習状況調査の過去問題に挑戦する。（2, 3 学期） 冬期休業、学年末休業の課題に上記のテストを利用する。 全国・県の学力学習状況調査において全ての教科の基礎問題の正答率を県平均に近づける。

進捗状況・「S：目標を大きく上回った（100%を超えている）」、「A：目標を十分達成できた（85%以上 100%未満）」、「B：目標を概ね達成できた（70%以上 85%未満）」
「C：目標をある程度達成できた（50%以上 70%未満）」、「D：目標をあまり達成できなかった（30%以上 50%未満）」、「E：目標を達成できなかった（30%未満）」